

学校教育目標

自律 共感 協働

子どもたちがめざすこと

〔自律〕自分で考えて行動する 〔共感〕相手の立場に立って考える 〔協働〕みんなで目的を達成する

指導方針

- ・学校・家庭・地域で情報及びビジョンを共有し、学校運営に参画する。
- ・子どもたち一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導と必要な支援を行う。
- ・経営方針のもと、教員一人一人の活動を組織的に機能させる。

【全ての子供に「資質・能力」の育成を保証する】

- (1) 個別最適な学びと協働的な学びの一体化
- (2) 時代に応じた多様な学びの創造
- (3) 地域の教育資源を生かした探究活動の推進
- (4) 幼児教育からの学びの連続性の重視

【一人一人を大切にしたいきめ細やかな教育の推進】

- (1) 一人一人の違いや多様性を認め合える学級経営
- (2) 適切なアセスメントに基づいた指導
- (3) 相談・支援体制の充実
- (4) いじめ等問題行動における組織対応の徹底

【健やかな体の育成とスポーツライフの充実】

- (1) 楽しみながら体力向上を図る環境づくり
- (2) 普段の生活に役立つ健康教育の推進



【当事者として問題解決に向かう児童の育成】

- (1) 授業における「対話的な学び」の推進
- (2) 自治活動（学級会・児童会）の活性化
- (3) 金管バンド活動の推進と持続可能な指導体制の構築

【家庭との連携促進】

- (1) 子どもの望ましい生活・学習習慣づくりの推進
- (2) 相談体制の充実
- (3) 分かりやすい家庭への情報発信

【円滑な学校統合に向けた諸準備と職員の働き方改革】

- (1) 三輪小学校との連携行事の実施
- (2) 校舎増改築に伴う、児童の教育環境整備
- (3) オーバーワークを起こさない推進計画

めざすコミュニティ・スクール

主体性を持つ学校運営協議会の主導により、吉見、鴨庄の地域・学校・家庭がそれぞれ本来の役割を発揮し、地域の教育力を活かした学校支援を行う。また、持続可能なコミュニティ形成をめざす。

本校の特色ある取組

- (1) 吉見小学校の最終年度を締めくくる諸行事の実施
- (2) 吉見・鴨庄のフィールドで展開する「ふるさと学」
- (3) 5・6年生「金管バンド」
- (4) 4年生「和太鼓」
- (5) こども園との連携



目標 自分で考えて行動する子に（自律）

「自分で決める」自律型の子どもを育てることが最高位の目標です。その力は、主に授業の中で培い、学校生活全般で展開します。子どもたちがワクワクして登校する学校づくりに、児童・教職員・家庭・地域が、当事者意識を持って学校経営に参画していきます。

丹波市の教育 基本理念
一人ひとりを大切にし、ふるさとを思い
あわせのカタチを創造できる人づくり



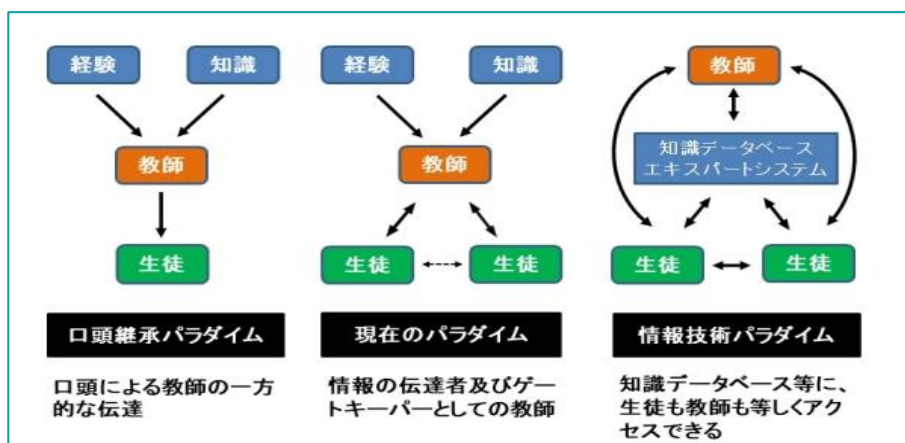
全ての子供に「資質・能力」の育成を保証する

(1) 個別最適な学びと協働的な学びの一体化

1 時間単位で授業構想するのではなく、8 時間や 10 時間 などという大きな枠組みの中で、自ら計画を立て、学んで、その進捗をメタ認知しながら進められる力を育成する。➡単元デザイン

（２）時代に応じた多様な学びの創造

クラウドやインターネットを活用して自ら学びを進めていく力を育成する。教師も子供も同じように積極的にクラウドの活用をしながら慣れていく。



(3) 地域の教育資源を生かした探究活動の推進

人々とのふれあいを通して地域のよさを知り、地域のために何かしたいと思う児童を育成する。



(4) 読書活動の推進

ムツレさん

(5) 幼児教育からの学びの連続性の重視

しんかタイム：個人思考から全体思考にうつるまでの時間を「しんかタイム」とし、個人思考で考えを持つことができた者から離席し、考えを持つことができた者同士が意見交流し、自分の考えをアウトプットし合う。決められた時間にできるだけのアウトプットを行うので、自分の考えに自信を持つこと（信化）ができる。また友達との意見交流によって、自分の考えをより良いものにする（深化）こともできる。実施を重ねると、どの教科においても自分から「しんかタイム」をしたいと進んで行動する（進化）ことができるようになる。教師は、「しんかタイム」の実行者に対して、称賛など評価言を与えることで、考えを持つことやそれを人に伝えることの大切さや喜びに気づく（真価）ことができる。また、離席していない者（思考中、もしくは、コミュニケーションに自信がない）に寄り添い、課題に応じた声掛けを行うことで、協働的な学びの中で、個に応じた指導を行う。

*指標「授業で課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答する児童の割合

*指標「授業の内容はよくわかる」と回答する児童の割合

*指標「丹波市定着度テスト」同一集団経年比較の状況

一人一人を大切にしたいきめ細やかな教育の推進

(1) 一人一人の違いや多様性を認め合える学級経営

- ・多様な児童(巻末図解)が在籍することを前提とした教育のユニバーサルデザイン化。

指導者に高い受容力があることが多様性の教育に関わる最初の条件である。児童が無意識的な教員の言動から吸収する事柄は教えるよりも影響を与える「隠れたカリキュラム」となる。



(2) 適切なアセスメントに基づいた指導

- ・個別の支援計画の共有と特別な支援や支援を必要とする児童への対応力の向上
- ・特別支援教育委員会の定期開催

(3) 相談・支援体制の充実

- ・関係機関との連携
- ・児童、保護者との教育相談の充実
- ・校内サポートルームの環境整備と不登校支援サポーターの活用。
- ・心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する

昨年度相談実績：スクールカウンセラー（市島中・火曜日）／SSS（市島中・火曜日）／丹波市教育支援センター／氷上特別支援学校／家庭児童相談室／川西子ども家庭センター丹波分室

(4) 生徒指導における組織対応の徹底

【問題行動における対応】について、以下の点に留意する。

- ①変化への感度を高く持つ
- ②報連相を迅速に
- ③事実関係の正確な把握
- ④特別支援教育の視点を持つ
- ⑤家庭への迅速な報告
- ⑥解消後の事後ケア

生徒指導の考え方

- ・良し悪しに関わらず、教室の様子や児童の実態を話題にする習慣を持つ。
- ・喧嘩やトラブルは、ゼロにすることが目標ではない。適確に対応し自浄能力（組織内の悪弊を自分たちで改めることのできる力）を育んでいく。
- ・児童には納得して帰宅
- ・保護者には、学校で起こったことの一部始終を伝えることを基本とする。

【いじめの未然防止、早期発見・早期対応における対応】について、以下の点に留意する。

- ①いじめアンケートによる年3回の、全児童への個人面談を確実に実施する。
- ②いじめを積極的に認知する。認知したケースにはいじめ対応チームで組織的に当たる。
- ③児童や家庭等からの情報提供に迅速かつ丁寧に対応する。

【不登校未然防止における対応】について、以下の点に留意する。

- ①始業時に（8:15）全校児童の出欠確認を複数で確認する。家庭との連携を取る。
- ②不登校の予兆を感じたら、複数で対処し、情報共有する。
- ③家庭との連携・寄り添う気持ちを持つ。
- ④状況に応じて適切に対応する。

受入体制：ホームルーム、保健室、サポートルーム、時間差登校、放課後登校等

見守り体制：授業中、休み時間、放課後等

*道徳ローテーション授業を通して組織的に児童を育成する土台をつくる

*指標：「学校に行くのは楽しい」と回答する児童の割合

*指標：「先生は自分のよいところを認めてくれていると思う」と回答する児童の割合

*指標：「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談できる」と回答する児童の割合

健やかな体の育成とスポーツライフの充実

(1) 楽しみながら体力向上を図る環境づくり

(2) 普段の生活に役立つ健康教育の推進

- ・児童自ら体調管理ができる能力の育成。
- ・望ましい生活習慣・学習習慣づくりに取り組む児童の育成➡「生活チェック」「家庭学習記録」の利活用

*指標：「運動が好き」と回答する児童の割合

*指標：「授業や先生に教えられたことを健康生活に役立てている」と回答する児童の割合

当事者として問題解決に向かう児童の育成

(1) 授業における「対話的な学び」の推進

(2) 自治活動（学級会・児童会）の活性化

(3) 金管バンド活動の推進と持続可能な指導体制の構築



育てたい力 ①他の人の立場に立ってその人に必要なことやその人の考えや気持ちなどが分かるような想像力や共感的に理解する力

②考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、また、的確に理解することができるような、伝え合い、分かり合うためのコミュニケーションの能力やそのための技能

③自分の要求を一方的に主張するのではなく建設的な手法により他の人との人間関係を調整する能力及び自他の要求を共に満たせる解決方法を見いだしてそれを実現させる能力やそのための技能

*指標：「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」と回答する児童の割合

*指標：「学級や学校をよくするために何かしてみたい」と回答する児童の割合

家庭との連携促進

(1) 子どもの望ましい生活・学習習慣づくりの推進

(2) 相談体制の充実

(3) 分かりやすい家庭への情報の発信

*指標：毎日同じくらいの時刻に寝ている児童の割合

円滑な学校統合に向けた諸準備と職員の働き方改革

(1) 三輪小学校との連携行事の実施

(2) 校舎増改築に伴う、児童の教育環境整備

(3) オーバーワークを起こさない推進計画

*指標：月に45時間以上超過勤務を行う教職員の割合

【吉見小学校・鴨庄小学校の統合による成果と課題】

令和7年4月1日現在、学校統合が好影響を与えたと受止める児童・保護者が概ねである。統合時に掲げた「自律・共感・協働」において、児童の成長が顕著に表れ、家庭・地域においても安心感と満足感が得られている。令和8年4月1日の市島小学校開校に向け、増改築等の環境整備に動じない、ゆとりのある計画を持って進める。

【統合に関する行事予定】

	吉見小行事	三輪小との合同行事	PTA行事	その他
4	始業式(7月) 入学式(8火) 遠足 授業参観・PTA総会(26土)	吉見・三輪担任・担当打合せ 吉見・三輪合同リレーション(15火)	PTAリサイクル活動(13日) PTA総会(26土) R7年度案及び市島小学校PTA規約の承認	バス進入口隅切り工事 増築棟工事 外構工事
5	修学旅行(16金～17土) 自然学校(20火～24土)		自転車教室 学年親子活動	増築棟工事 外構工事
6	オープン参観日(10火)	吉見・三輪担任・担当打合せ 吉見・三輪3・4年合同授業(4水) 吉見・三輪1・2年合同授業(18水) 吉見・三輪 5年合同授業(25水)	学年親子活動	増築棟工事 外構工事
7	個別懇談(8火・10木・11金) 終業式(18金) 改修教室・職員室移動 川裾祭り			増築棟工事 外構工事 職員室及び教室改修工事
8	鴨庄桑山子祭 鴨庄夏祭り 改修教室・職員室移動	一部備品移設 鴨庄・吉見地域「熟議」	PTA奉仕作業	増築棟・外構 検査 職員室及び教室改修工事
9	始業式(1月)	吉見・三輪4年合同社会見学		
10	運動会(18土) 創立記念日(23木)	吉見・三輪3・4年合同参観(22水) 吉見・三輪1・2年合同授業(29水)		
11	音楽会(15土)	吉見・三輪 5年合同授業(5水)		
12	マラソンフェスタ(4木) 個別懇談(9火・11木・12金) 終業式(25木)	一部備品移設	市島小PTA役員選出開始	
1	始業式(7水) オープン参観(21水)	新年度提案文書の確認	PTA引継会	3地区自治振興会との協議
2	ラストコンサート(20金)	入学・転学説明会(6金)	新一年生学年委員選出 市島小PTA役員会	三輪小でのバス乗車練習
3	卒業証書授与式(23月) 修了式(24火) 閉校式(28土)	プレ登校(3火～5木) 太鼓引継式／児童会選挙 等 吉見・三輪合同校務分掌検討委員会 引越作業 第1回職員会議及び引継会	市島小PTA役員会	学校運営協議会委員選出
4	市島小開校式・始業式(7火)			